

荒川区（東京都）

< 取組の概要 >

区民の相互協力により、高齢者や身体障害者等のように災害時に自力で避難することが困難な人たちを救出する体制づくり（おんぶ作戦）が、防災区民組織によって進められている。

1．取組開始の経緯等

国際障害者年（昭和 56 年）を契機とした総合的な福祉施策の推進がきっかけとなり、昭和 58 年に障害者・高齢者団体の代表、町会長、民生委員等による対策会議が設置された。

荒川区では、大地震時の災害危険度が高く、高齢者や身体障害者の救出には隣近所の協力が必要なため、平常時から避難援助体制を整えておくこととしている。災害時にはたとえおんぶしてでも救出するという趣旨から命名された「おんぶ作戦」が、昭和 59 年から防災区民組織によって進められている。平成 16 年 8 月現在、55 組織（町会）59 体制が確立している。

2．取組主体の構成等

区、防災区民組織（自主防災組織）

3．避難支援の取組状況

（1）災害時要援護者情報の把握方法

区福祉部局から毎年、「支えあい見守りあい活動希望届け」を送付し、希望状況を照会。住所・氏名・年齢・要援護者たる事由、希望する活動内容等の情報を収集している。また、同時に町会・民生委員・社会福祉協議会・在宅介護支援センター・警察署・消防署への情報提供の承諾書も兼ねている（承諾率は 8 割～9 割程度）。このようにして、高齢者や障害者の情報を収集し、台帳として毎年整備している。

記載項目は、氏名・住所・電話番号・世帯形態・要援護者たる事由・希望する活動についてである。

町内会内では、情報は会長限りとされており、構成員は内容については承知していない。細かいニーズに関する調整については、守秘義務を持っている民生委員を通じて行っている。

（2）避難支援者の定め方等

荒川区における「おんぶ作戦」は、健康な人がチームを組み、予め特定した高齢者等をいざという時にはりやカーやおんぶ帯により、協力し合って救出するというものである。

まず、地域にいる寝たきりの高齢者や身体の不自由な者で「おんぶ作戦」の趣旨を理解した「援助対象者」を決定し、その後、援助対象者1人に対して「援助協力者」3～4名を選定する。

援助対象者は、区内に在宅で生活する者のうち、以下のいずれかの要件に該当する希望者となっている。

《高齢者》

- ・ 75歳以上で独り暮らしの者
- ・ 75歳以上で高齢者のみの世帯に属する者
- ・ 介護保険で要介護認定3～5の認定を受けた者
- ・ その他、日中、独居等により見守りが必要と認められる者

《障害者》

- ・ 身体障害者手帳を所持しており1～2級の者
- ・ 愛の手帳を所持しており1～4度の者
- ・ 精神障害者保健福祉手帳を所持しており1～2級の者
- ・ その他、見守りが必要と認められる者

また、各町内会では援助対象者や援助協力者の高齢化が進んでいるところであるが、新住民に対しては、町内会長等が自ら足を運びつつ、普段のコミュニケーションづくりを進めながら、「おんぶ作戦」の趣旨の浸透にも努めている。さらに、昼間時の災害に備え、近隣企業と相互援助協定を締結し、レスキュー隊を結成するなど、連携促進に努めている町内会もある。

なお、以前は具体的な支援体制を決めていたが、発災時における援助協力者の確保に困難が予想されることから、現在では、敢えて特に支援者を定めていない場合もある。その場合、災害時に、活動の中心となる町内会幹部が適宜、支援者を調整する。

(3) 災害時要援護者情報の共有方法

平常時、この台帳は、町会・民生委員・消防署・警察署・在宅介護支援センター、社会福祉協議会において保管されている。

町内会の平素の活動においてはあまり使用されておらず、町内会の班単位で情報の把握に努めている。

4. 訓練の実施状況

各町会において防災訓練を実施する際に、避難援助や誘導を実施している。最低年3回、防災関係の訓練を実施している町会もある。

5. 今後の課題等

- ・ 実際に避難誘導をする際の支援者が事前に定められていない場合もあり、発災時の円滑な対応が可能か。
- ・ 倒壊家屋からの救出、高齢者等の搬送等、積極的な訓練を実施しているが、地震を想定したものが中心となっているため、今後、風水害等の災害

を想定した訓練の実施も期待される。

- ・ プライバシー保護の観点から、台帳の情報が平素は町内会長限りとされており、いざというときに迅速に活用できるか、不安がある。

別記第1号様式(第6条関係)

支えあい見守りあい活動希望届

平成 年 月 日

荒川区長 殿

私は、荒川区高齢者等支えあい見守りあいネットワーク事業の趣旨に賛同し、支えあい見守りあい活動を受けることを希望します。

また、私が届け出た下表の個人情報を区が町会、民生委員、社会福祉協議会、在宅介護支援センター、警察署、消防署に提供することを承諾します。

住 所 電 話	荒川区		
	電話番号 ()		
ふりがな		性 別	
本人氏名		男・女	
生年月日	明・大・昭・平 年 月 日生 ()歳		
支えあい見守り あい事由 (該当するすべてに をつけて ください)	1 75歳以上で一人暮らしの方 2 75歳以上の高齢者のみの世帯に属する方 3 介護保険で要介護3～5の認定を受けた方 4 身体障害者1～2級の方 5 愛の手帳1～4度の方 6 精神障害者保健福祉手帳1～2級の方 7 その他(見守りが必要な理由)		
希望する活動(希望 するものすべてに をつけて下さい)	1 日頃の声かけ、見守り 2 災害時の避難援助、誘導 3 その他()		
緊急連絡先 兼 届出代行者(届出者 が本人以外(親族) のときに記入。)	氏 名		本人との続柄
	住 所 電 話	電話 ()	

届出代行は、親族の方が行ってください。